

第5回「ふくしま・かわまた米コンテスト」実施要綱

目的

東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故による影響により、8年経った今でも福島県産米は風評被害によりブランド力が損なわれています。米の全量全袋検査等、風評の払拭に向けた取り組みから一定の成果は見られるものの依然として完全な払拭には至らず、米価が下落し産地が伏せられたブレンド米として販売されたり、業務用米として大量販売されたり等、依然として厳しい販売環境にあります。

この状況を受けて、生産者の生産意欲の向上と消費者へのPRを目的として、2015年から「ふくしま・かわまた米コンテスト」を福島市で開催してきました。過去4回の開催では、地元消費者に対して、お米の美味しさを五感で感じてもらう体験の提供と丁寧で分かりやすい情報発信をすることで、生産者と消費者の繋がり場をつくってきました。今年はコンテスト開催地を東京に移し、より多くの方に福島県のお米を食べていただく機会をつくることで、さらなる生産者の意欲と誇りの向上と福島県ブランドの回復に繋げていきたいと考えています。

主催 「ふくしま・かわまた米コンテスト」実行委員会

(福島市・川俣町・ふくしま未来農業協同組合・福学大学)

後援 福島県北農林事務所 **協力** 福島大学食農学類 福島県養鶏協会

開催要領

1. 日 時 令和元年11月22日(金) 11時00分～15時00分
2. 場 所 農業・農村ギャラリー ミノーレ
(東京都千代田区大手町1丁目3-1 JAビル4階)
3. 参加資格 福島市・川俣町に在住する農業者(1人あたり1点まで)
4. 参加料 500円
5. 応募要件 福島市・川俣町で生産された令和元年産米
(コシヒカリ・ひとめぼれ・天のつぶ)
6. 審査基準 イネ育種マニュアル(農業研究センター研究資料(第30号))「食味官能検査」等を基に作成する。
第1次審査 食味計・穀粒判別器により上位30名を選出し、さらに味度計により選出された上位5名が第2次審査へ
第2次審査 審査員による食味官能検査により順位を決定する。
7. 審査員 実行委員代表、米穀・流通・飲食関係者など10名前後で行う。
8. 表 彰 金賞1点、銀賞2点、銅賞2点
9. 金賞米予想投票 来場された一般参加者が試食を行い金賞の予想をしてもらう。
的中者から抽選でプレゼントを贈呈する。

【ふくしま・かわまた米コンテストの企画内容について】

○プログラム

- 12:30 開会式
- 13:00 審査員による試食開始
- 13:15 来場者試食・金賞予測投票/福島大学学生による企画
- 13:50 結果発表・表彰式
- 14:10 金賞米予想投票の結果発表
- 14:20 閉会式

○審査員

- ・木幡 浩（福島市長）
- ・佐藤金正（川俣町長）
- ・菅野孝志（ふくしま未来農業協同組合代表理事組合長）
- ・比嘉政浩（全国農業協同組合中央会専務）
- ・藤本友子（日本生活協同組合連合会ブランド戦略本部）
- ・芦垣 裕（食味鑑定士）
- ・世永亜美（株式会社サマンサタバサジャパンリミテッド）

○上位5名生産者 ※全員出席します

- ・古関善寛（福島市）
- ・斎藤博美（川俣町）
- ・橋本英行（福島市）
- ・清野嘉一（福島市）
- ・尾形儀一（福島市）

○来場者特典

- ①先着順、福島県産りんご1個プレゼント
- ②先着順、福島県産卵1パック（6個入り）プレゼント

【ふくしまミニマルシェの開催について】

時 間：11:00～15:00

販売物：ジャム、ドライフルーツ、川俣シャモカレー、川俣シャモの炊き込みご飯、日本酒（古関メロディ、福島大学の純米吟醸、金水晶のお酒など）、おかわり農園の新米

○ミノーレお弁当に福島県産米を使用します

- ・日程 18日～22日
- ・品種 天のつぶ